

### 仮設・借り上げ住宅供与終了に伴う対応は

遠藤町長／戸別訪問により意向を確認

**小磯** 応急仮設住宅・民間賃貸住宅の供与終了に伴う対応について、

- ①町は仮設住宅を5月23日から6月1日まで戸別訪問をしました。過去アンケート回答を含め、結果をお知らせください。
- ②県は借上げ住宅を個別訪問していますが、結果をお知らせ下さい。
- ③町は最後の一人まで責任を持って対応されるべきである、そのロードマップをお示し下さい。
- ④来年3月末、居住住民数と水道などのインフラ対応はどのようにしますか。

### 町長

①本年2月に県及び町が実施した「住まいに関する意向調査」で、平成29年4月以降に住まいが未確定の世帯、未回答の世帯222世帯の戸別訪問を実施しました。結果は、意向確認世

帯122世帯、不在で未確認の世帯100世帯です。

その内訳は、自宅帰還は66世帯、ある程度確定している世帯が40世帯、未確定世帯16世帯です。

- ②県内外の借り上げ住宅の転居先確定の154世帯を除く、346世帯を、県職員が7月1日まで訪問しており、結果の報告は7月下旬です。
- ③避難中の方に繰り返し訪問を実施し、各種支援制度の周知をしていきます。
- ④居住住民数は、来年3月末には3千人から3千500人と推定されています。

### 行政区長の役割と活動実績は

遠藤町長／主に町との連絡調整を依頼

### 小磯

- ①27年度年度の活動実績をお示し下さい。
- ②行政区長の仕事とはなんですか。
- ③駅東側地区をはじめ、住民移動等により区割り見直しを行うべきではないですか。
- ④過去、行政区長改革の考えはありますか。

### 町長

①行政区長会議を開催し、7件の要望等がありました。また、住民同士の交流を助成しているコミュニティ交流助成金事業は、12の行政区か



小磯利雄 議員

- ら23件の申請がありました。
- ②町との連絡調整を主にお願いしており、震災以前は回覧の配付なども依頼していましたが、震災以降は郵送により行っているため、地域割と班長手当の支給をしていません。
- ③住宅団地の計画もあり、今年度に関係する行政区長を含めた話し合いの場を設け検討する予定です。
- ④地域住民の自治組織を代表する行政区長のもとで町行政と連携を図ります。

### 人口減少状況と対策は

遠藤町長／住環境の確保と子育て環境を整備

### 小磯

- 人口予測の推計値は大変厳しいものですが、常に政策の検証を進め地域差を乗り越えた町造りをすべきであると考えますが、
- ①将来、消滅可能自治体の定義に該当はしないのですか。
- ②町の人口減少状況と対策を伺います。
- ③地域社会の発展・人材育成を図るため、産官学連携を強化すべきではないですか。

### 町長

①日本創成会議・人口減少問題検討分科会が発表した消滅可能性都市の定義は、2010年から2040年に、20歳以下の若年女性人口が5割以下に減少する市区町村です。原発事故の影響で、推移を見通すことが困難であるため、該当す

- るか判断できない状況です。
- ②平成28年1月1日で5千107人です。住環境の確保や整備、子育て環境の整備に取り組み、周辺市町村からの転入等を戦略的に進めます。
- ③平成26年6月に、東日本国際大学と教育、文化、産業等の連携協定を締結し、平成28年1月に東京大学と放射性物質による汚染の測定及び除染の連携協定を締結しました。

さらに、平成28年4月にあぶくま信用金庫と地域密着総合連携協定を締結し、平成28年6月にいわき信用組合と相互の連携協定を締結しました。

# インターネットで議会会議録の閲覧ができるようになりました

町民の皆さまに議会の状況をお知らせし、情報の共有化を図るため、町ホームページ内から議会会議録の閲覧が可能になりました。

インターネットを利用できる環境があれば、いつでも、どこでも議会会議録を閲覧できます。(会議録は平成27年2月第1回議会臨時会からの公開となっています。)

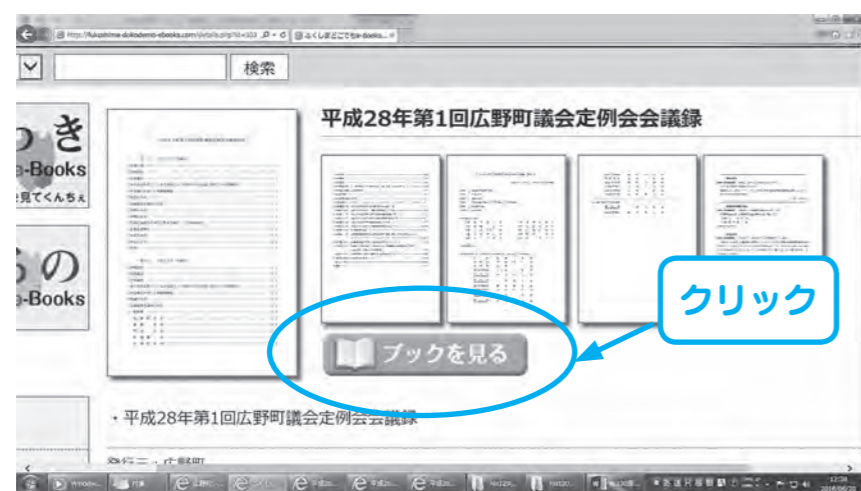
- ①広野町ホームページ (<http://www.town.hirono.fukushima.jp/>) の右側にあるひろのどこでも e-Books をクリック。



- ②画面左側の議会をクリックします。



- ③会議録および議会だよりが公開されていますので、ご覧になりたい画像をクリックし、「ブックを見る」をクリックすると閲覧できます。



※引き続き、役場内の図書室でも冊子で会議録をご覧いただけます。